

平成 24 年 2 月 17 日

法人向けインターネットバンキング利用者様各位

豊和銀行 事務統括部

法人向けインターネットバンキングサービスセキュリティ対策の導入について

昨今、インターネットバンキングの不正利用による被害が多発しております。そこで、今回当行におきまして、セキュリティ対策の強化として、「法人向けインターネットバンキングサービス」について、「電子証明書」による本人認証方式の導入を致しました。

以下の説明をご確認いただき、「電子証明書」を利用していただきますよう、宜しくお願い致します。

記

電子証明書とは

従来の書面による手続きにおける印鑑証明書などに相当するもので、特定の発行機関や認証局が発行する電子的な身分証明書。利用できるパソコンが特定される（電子証明書をインストールしたパソコン以外では使用できません）ため、第三者による不正使用のリスクが軽減され、セキュリティ面で強化が図れます。

本人認証では「記憶認証」（例：パスワードなど）と、その人しか持っていないもので認証する「所持認証」の二つの要素（例：キャッシュカードと暗証番号）を組み合わせた対策が有効とされていますが、現時点で電子証明書はこの二要素認証を実現できるオンライン取引に最適な本人認証方式です。

メリット

- ・ 万が一、IDおよびパスワードを不正入手されても、正しい証明書が提示されない限りログインできないため、フィッシングサイト、スパイウェア対策に有効です。
- ・ 会社内の決められたパソコンの決められたユーザからしか操作できないため自宅など、他の場所からのアクセスを制限することができます。

デメリット

- ・ パソコンの変更や、使用ユーザの変更を行うごとに、銀行への届出と、証明書の再発行処理が必要となります。

留意事項

- ・ 「電子証明書方式」に変更した場合、「ログインID方式」でのログインはできません。
- ・ 電子証明書をインストールしたパソコン以外では、法人向けインターネットサービスのご利用はできません。
- ・ 電子証明書の有効期限は1年間ですので、証明書の期限が切れた場合、接続できなくなるため、1年ごとに再度証明書の取得作業が必要となります。
- ・ 電子証明書ログインでは通常、初回のみ「ログインID」を使用し、その後は「ログインID」は使用せず、電子証明書と、パスワードを利用してログインします。しかし、電子証明書の再発行時等「ログインID」が必要となりますので、必ず保管しておいてください。

動作環境について

- ・ OSとインターネットに接続するソフトのバージョンは以下を推奨しております。
- ・ 以下のとおり、証明書方式ではOSは「Windows」ブラウザは「Internet Explorer」のみの対応となっております。（「Macintosh」ではご利用できません）

Windows 2000・・・Internet Explorer 5.5 1、Internet Explorer 6.0 1 2

Windows XP・・・Internet Explorer 6.0 1 3、Internet Explorer 7 1 3

- 1 マイクロソフト社から提供される各OSのセキュリティパッチ MS02-48 が適用されていることが条件となります。なお、Windows 2000 の場合はサービスパック 4 以降、Windows XP の場合はサービスパック 1 以降が適用されていれば、セキュリティパッチ MS02-48 は不要です。Windows 2000 セキュリティパッチ MS02-48 を適用する場合、サービスパック 1～3 の何れかが適用されている必要があります。
- 2 Internet Explorer 5.5 では、証明書ログイン時に証明書選択ダイアログで証明書を選択すると、最初のログイン画面に戻ります。その画面から再度ログインすると、今度は証明書選択ダイアログが表示されずにログインパスワード入力画面に遷移しますが、そのまま操作を継続しても問題ありません。
- 3 Windows XP にてワークグループの機能を利用している場合、ワークグループに参加している Windows XP ユーザの Windows パスワードを、証明書発行後に管理者が強制的にリセットすると、証明書ログインができなくなります。この場合、パスワードを証明書取得時のものに戻すか、証明書の再発行が必要となります。

「電子証明書方式」は、「ログインID方式」に比べて、ご使用される環境（OS、ブラウザ等）に制約がありますので、特に、「ログインID方式」から「電子証明書方式」にお申込をご変更いただく場合は、動作環境にご注意ください。

以 上